



星槎スポーツ新聞

第46号 ★ 2020年6月5日(金)

星槎グループ セイスポ編集部発行
神奈川県 中郡大磯町国府本郷 1805-2

SEISA

星槎国際湘南 硬式 野球部



2020 野球部 始動

星槎国際湘南
硬式野球部
監督 土屋恵三郎

応援ありがとうございます
選手たちは全寮制の中、体調管理と寮内の消毒作業を徹底しながら、明るく元気に過ごしています。
今年は、困難な状況が続く、スポーツ界にも大きな影響を与えています。そんな先が見えない中、生徒たちには「一生懸命取り組もう」と話しています。練習試合が5月末まで中止、春季大会の中止も選手たちにとっては、大変難しい現実だったと思います。

2020年度の抱負 主将 濱田琉大

私たち野球部は、初の甲子園出場に向けて、日々の練習に取り組んでいます。

今年の野球部のスローガンは「必笑」です。昨年度は一番で、打てなかった、守れなかったことで悔しい思いをしました。その悔しさを胸に、冬の期間の練習に励みました。

打撃面では、1000本スイングやサンドバツク打ちなどのパワー強化の練習を行いました。手の皮が剥けマメができて、バットを振り続けました。その効果もあり、今では以前よりも、打球が強く、力が付いたと感じています。守備面では、基本的な練習を何度も繰り返し行い、基本を身に付けました。この一番で

その中でも野球部は、チームスローガンを「必笑」と書いて「必笑」としています。この先は明るい。皆さんに明るさと笑顔を届けます。今年も応援、よろしくお祈りします。

コーチを代表して 佐々木勇人先生に聞きました

(聞き手)
東海林 匠
松丸 凌志

Q. 指導者としての目標は?

A. たくさん野球の好きな選手、子どもたちを育てたい。野球人口が減っ

ているという話があるが、野球をもう一度楽しんでもらいたい。人にも理解してもらい、みんなが野球で明るくなれるようにそんなチームを目指したい。

また、人に影響を与えたい。チームをつくっていき

たい。それは星槎でも星槎でなくても関わったチームが誰かに影響を与えられる、人を明るくしたりこのチームを見ていくと元気が出たり応援したいというチームを作りたい。

A.Q. チームの目標は?

今年はベスト4に入れる力があると思います。最低でもベスト4以上。そこから先はやっぱり走攻守揃ったチームでアルファ。ミスが少ないチームが勝ち進むと思うのでまずはミスを減らしていくことが最低条件かと思っています。

それから夏を勝ち上がるには投手が1枚間違いないでいいのでここから2番手3番手の投手がどういう風に出てきてくれるのかベスト4に行くための条件かと思っています。目標は当然甲子園なのですがこのチームではまずベスト4以上は最低限の目標としておきたいと思っています。

部員の言葉

香川 琉星

コロナの逆風を追い風に変わって、神奈川を制します!

茂木 陸

ハングリーに常に挑戦者として食らいつく!

全員が必笑できる年になります。



濱田琉大

未来に向けて スポーツを超え

SKYプロジェクト —エリトリア、ブータン、 ミャンマー応援動画完成!!

2021年に開催されることになった2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町及び星槎グループは、県内で事前キャンプを実施するエリトリア、ブータン、ミャンマーを応援するため、SKYプロジェクトと銘打った実行委員会を設立し、国際交流や地域振興のイベント等を協同で企画し運営している。

SKYプロジェクトのアルファベットSKYには、3つの思いが込められている。地域における(S)スポーツの振興(K)教育文化の向上(Y)友好関係を構築するから取って「SKY(スカイ)プロジェクト」としている。

初企画として行われた第一弾SKYプロジェクトは2016年2月、北京及びロンドンオリンピックの男子マラソンに出場した「ヤレド・アスメロン」選手との交流プログラムを横浜市内にある青葉台保育園・幼稚園を訪問して行われた。そ

して、今回のSKYプロジェクトでは、1年を切った2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の社会的な機運の盛り上げを県市町と星槎グループで一体となって進めていけるよう3カ国の機運醸成応援動画を作成した。星槎グループで日々ハードな練習と勉強を頑張っている3カ国の留学生を中心に、星槎国際湘南学習センター・星槎中学校・神奈川県・小田原市・箱根町・大磯町の皆さんと一緒に応援動画

に出演している。公開動画は、3カ国全てを観ることのできるオンラインバージョン、エリトリア・ブータン・ミャンマーの各国を分けて閲覧するショートバージョンがある。YouTube・Facebook



sky_movie

イン스타그램と云ったSNSにもアップされている。動画イントロ部分には、神奈川県小田原市・箱根町・大磯町の名所を紹介する傍ら、各国の留学生が自国の言葉で語りかける。是非注目して覚えて欲しいのは、3カ国の母国語で「がんばれ!」を何と言っのか。

2020年5月11日。大磯町は曇一つない晴天に加え、気温も今シーズン最高の27.6度を更新した名の通り「晴れの日」に星槎国際高等学校湘南学習センターでは入学式が執り行われた。

事がつつ見どころでもあったが、担任から一方的に生徒の氏名を読み上げるのみで、どこか寂しいものがあった。しかし実際に会場です予定だった在校生代表山崎祐奈(女子バレーボール)、新入生代表沖山友梨(スポーツサポート(体操))の2名は自宅にてビデオ録画し、式中に配信する旨を伝え、要請すると両者とも快諾。式当日、ビデオが終わると会場からは拍手喝采。場所はバラバラでも2名のメッセージは71名の心にきつと届いたはずだ。

終了後1人の新入生が呟いた。「やっと高校生か!」1ヵ月と2日遅れて高校アスリートとなった彼らの高校生活のスタートは遅れたものの、この逆境に1人でも多くの生徒に立ち向かって欲しいと願う。

2020星槎国際湘南 入学式



星槎国際湘南アーチェリー部は今年で3年目を迎える。歴史は浅いが、神奈川県内では徐々に星槎の風が吹き始めた。そんなアーチェリー部の3年間を振り返り、そして、これからの未来について話をしたい。

アーチェリー部が創部されたのは2018年である。当時はブータンの留学生(ソナムチョワン、ニドゥドルジン)そして監督である茂田の3人でスタートした。留学生はまだ日本に来たばかり、私自身もあまり英語は得意ではなかったため、コミュニケーションをとるだけでも一苦労だったことは今でも鮮明に覚えている。創部から間もないころはアーチェリーを教えることよりも、どうコミュニケーションをとるか?が大きな課題であった。道具を使った日本語でも伝える事が難しい競技のため、それをわかりやすく「日本語」という言葉を使わずに伝える難しさは想像をはかるに超

えた日々であった。しかしこの経験は日本人の指導にも活かしている。「伝える」と「伝わる」では大きな違いがあるからだ。徐々にコミュニケーションも取れはじめ、伝えたいことが伝わり始めた12月。韓国から徐碩源コーチが星槎のアーチェリー部の仲間として加わった。徐コーチの指導はとにかく厳しい。しかし、選手たちは必死に食らいつき、人としてもアスリートとしても強くなり大きく成長した。

徐コーチはオリンピッククマダリストを指導した経験を持つ最高の指導者である。徐コーチから学ぶことは私もあり、発見、学びの毎日である。

星槎国際湘南 アーチェリー部の歩んだ道。 そして未来へ



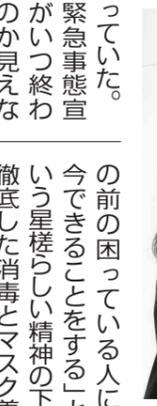
抜大会予選では、見事予選を通過し、初の地区大会出場を果たした。そして、冬に行われる全国大会の神奈川県代表に選ばれ、念願だった全国大会初出場の切符を獲得するも、残念ながらコロナの影響で全国大会は中止。そして3年目の4月。今年には新たに1人の仲間がアーチェリー部に加わった。インターハイは中止になってしまったが、星槎国際湘南アーチェリー部の部員たちは全くモチベーションが落ちていない。なぜなら、日本一で終わるつもりはないからだ。部員全員が常に「世界で勝つためには?」を考えている。インターハイなど通過点に過ぎない。しかし、大きな夢を成し遂げるためには小さな目標、階段を1歩1歩上ることが大切である。

『新たな日常』は 取り戻すのではなく 創出するもの

星槎道都大学の戦い



対策を万全にし、学生に支援金を支給



非接触型体温計で計測

2019年12月、中華人民共和国武漢市において確認された新型コロナウイルス(国立感染症センターHPより抜粋)は、依然として、全世界的に猛威をふるっている。

日本でも、4月7日に『緊急事態宣言』が発令されたから、さまざまな場面に影響を与え、人々の価値観や生き方までも変えてしまった。

北海道では、2月28日に、国に先駆けて北海道独自の『新型コロナウイルス緊急事態宣言』が発令され、道民は自粛生活を余儀なくされた。星槎道都大学も、授業やテストは終わっていたものの、運動部は新年度にむけての練習が自粛となり、満

足に行えない状態になった。卒業証書・学位記授与式は中止となった。そして、この宣言は、3月19日に終了となり、運動部の練習も再開された。

令和2年度の入学式も中止となる中、4月1日から、新年度のオリエンテーションが始まり、キャンパス内には学生の活気あふれる姿が見られるようになった。『日常』が戻ったように思えた矢先、同7日に国からの緊急事態宣言が、同12日は『北海道札幌緊急共同宣言』が、同16日には日本全国が緊急事態宣言の対象範囲の全国への拡大、と矢継ぎ早に発令された。大学も授業自体が休講に追い込まれた。

それまでは、アルコール消毒を徹底し、換気に注意し、3密にならないように工夫しながら練習していた運動部。(柔道部やラグビー部においては、連盟から加盟大学全体に練習自粛要請が出され、事実上の活動中止を余儀なくされていた。)

加えて、運動部の学生のほとんどは、シーズンオフにアルバイトをし、シーズン直前は練習に専念するという1年のサイクルを送っているため、4月以降、アルバイトを見つけているのも困難に

なっていた。緊急事態宣言がいつ終わるか見えない中、教職員1人につき2枚(1世帯に2枚ではない)、水着素材の洗って使えるマスクが支給され、インターネット授業の計画が進められた。学生は、全員、入学後『オフィス365』が4年間、無償で使えるため、そのなかの「eas」というソフトで授業を配信する準備が進む中、インターネット環境を整えることを主たる目的とした学生への支援金の支給が決まった。金額は3万円。それを、現金で対象となる学生全員に支給するという試み。目

の前の困っている人へ、今できることをすること。星槎らしい精神の下、徹底した消毒とマスク着用、非接触型体温計での計測を条件に、5月中旬にはほぼ全員の学生に行き渡った。また、アルバイトを見つけれない学生のために、『ワークスタディ奨学金制度』という、学内アルバイトの募集人数も拡大した。

全日本大学野球選手権や大学サッカー総理大臣杯なども中止となり、先行きの見えない大学スポーツ界。その中で、星槎道都大学は『新たな日常』を創出するための取り組みを、学生とともに進めていく。

繋ぐバレーボール

オピニオン

星槎国際湘南 教諭 佐々木 徹

皆さんはバレーボールという競技を体験したことはあるだろうか。私は球技の中で一番難しい競技だと思う。6人で縦9m横9mのコートの中で

ボールを落とさずに拾い、ネットを越えて返球する。至ってシンプルルールだがこれが難しい。様々な球技を経験してきたが、初心者でボ

ルをレシーブして思ったところにコントロールできる人、スパイクを打てる人はまずいない。その為、体育の授業でバレーボールをすると、ボールが繋がらず楽しむことができない。バレーボールの指導をするにあたり、「レシーブ」にこだわって

いる。バレーボールは身長が高ければ高いほど有利なスポーツであり、低身長の人には不利なスポーツである。私自身、身長が高い方ではなく、飛ぶことも苦手だった。何かこの競技を続ける上で生きていく道を探したときに

真下に打ち込まない為ラリーが続く。このラリーがバレーボールの醍醐味であり、女子の世界バレーの視聴率が良いのはその理由もある。

一方学生のアマチュアバレーでは、男女共通して拾えるチームが勝つと言われている。プロに比べ力も弱く、正確さ、メンタルなど色々な面で未熟なアマチュアではボールを拾う事で試合の流れが変わるからだ。

バレーボールが上手なエリートチームに弱小ではあるが徹底してレシーブを練習したチームが勝てることを夢見て指導者をはじめた。いつか絶対に

に繋ぐバレーが強いと証明したいと胸に秘め毎日練習を積み重ね、ようやく去年創部6年目にして全国高校総体神奈川県予選で優勝し、それを証明することができた。その時、繋ぐとはボールだけでなく心の繋がりが一番大切だと感じた。目先の技術よりも大切なことを教えてくれた生徒に感謝している。チームのモットーは全員バレー。コートの中と外、全員で戦うスタイルが星槎バレーだ。これからも繋ぐバレーが一番強いと証明できるように努力を続けていきたい。

大学入学後、フェンシング部に入部した。フェンシングに入部すると、周囲から「なぜ、高校時代はフェンシング部に入らなかったのか?」とよく質問をされた。高校時代の私には、フェンシングという新しいことを始めることへの勇気がなかった。その結果、友人の誘いでいたバレーボール部に入部し、高校3年間を過ごした。私は、これまで小学校6年間水泳、小学校高学年から中学2年生までバドミントン、中学2年生から高校3年生までバレーボールと様々なスポーツをやってきた。しかしどれも、始めるきっかけは「友達ややっていから」とか「転校がきっかけで何か部活に入らなければならなかったから」という具合に自分の意志ではないことが多かった。そんな私が、自分の意志で「何かをやりたい」、「始めたい」と思い、始めたのがフェンシングだったの

である。大学のフェンシング部には、幼い頃から始めていた人たちがたくさんおり、始めたばかりの私とは違い、ほとんどが経験者であった。このこともあり、入部当初は不安が多かったが、監督、先輩、同期がたくさんのことを教えてくれた。4年間のフェンシング部の経験を、フェンシング競技の奥深さはもとより、人と人との関わり大切さや、努力すること、新たなことにチャレンジすることの大切さを学んだ。

星槎 教師 列伝

星槎国際川口 教諭 高野まいか



「一歩踏み出す勇気」があったからこそ生涯の間、生涯のスポーツに出会えたと思う。私の場合はスポーツだが、これから出会うたくさんの人たちにも、ほんの少しの「一歩踏み出す勇気」があれば、たくさんの人との出会いや夢中になれるものが見つかるかもしれない。

ニュース速報

第102回 全国高等学校野球選手権大会中止

第102回 全国高等学校野球選手権大会は8月10日(月・祝)から16日間、阪神甲子園球場に於いて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い5月20日の「第102回 全国高等学校野球選手権大会・第2回 運営委員会」で大会開催中止が決まった。

都道府県高野連が代替試合の可能性を探っていくことになる。

部活動

緊急事態宣言解除を受け、神奈川県教育委員会は県立高校の部活動を6月末より段階的に再開させる方針を決めた。6月末から約2ヵ月かけて活動内容を広げていく予定だ。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国高校総合大会(インターハイ)や夏の全国高校野球選手権はすでに中止が決定している。代替大会の開催を模索する動きが各都道府県単位で広がっている。

セイスポ

2020 女子サッカー部

星槎国際湘南



監督 柄澤俊介

女子サッカー部の柄澤俊介です。今年もよろしくお願ひ致します。

今年度はオリンピック延期やインターハイ中止という歴史的な出来事がありました。インターハイ中止は特に3年生にとっては非常に酷な出来事です。高校生の1年間と大人の1年間は違います。人命優先ということは理解しなければなりません。貴重な成長の場や思い出をつくる場所を失ったことも事実です。かわいそうだが、残念だと言っことは簡単ですが、何か変わるものやプレーをする環境を整えてあげることが、私たちがやるべき事ではないかと考え今後も模索していきたいと思ひます。

また、私の知る限りでは開催地のスタッフも2年以上前から準備していたのでさぞかし悔しかったらうと思ひます。

色々な無念をはらすことはできませんが、今できることを考え、形にしていき、少しでも今後の活動が充実するように努力していきたいと思ひます。

皆さま応援の程よろしくお願ひ致します。

教諭 奥田星佳

初めまして。このたび星槎国際高等学校湘南学習センターに着任致しました、奥田星佳と申します。

今年3月に日本体育大学を卒業し、4月から教員、指導者として星槎に勤めさせて頂くことになりました。

星槎の生徒たちの姿をみると、毎日、仲間と共に日本一を目指し、ひたすらボールを追い、グラウンドを走り回った自分の高校時代を思い出します。今年には新型コロナウイルスの影響もあり、インターハイや各種競技大会が中止になるなど厳しい現状にあります。

しかし、私たち女子サッカー部は大会に出場することだけが目的ではありません。サッカーを通して人とどう成長したいか、どんな人間になりたいかが一番重要なことです。高校三年間で自分の目標をしっかりと持ち、自らが考えて行動する自主性、サッカーでは、「攻守ともに主導権を握る」をテーマとし、トップレベルで戦える技術と人間性を兼ね備えた選手を育成を目標に、見ている人が楽しめるサッカーを体現できるように指導をしていきたいと思ひます。

キャプテン 武莉子

日本一を目指し、人の為に行動できる人になります。

星槎国際湘南 2020

陸上競技部



教諭 石塚靖夫

私は現在勤務する湘南学習センターに昨年の4月より勤務し、エリートリアからの留学生を含む陸上競技部の生徒と共にスポーツを通じて様々なことを学び、そして貴重な経験をすることができました。

生徒は教室での学習活動を終えた後、学習センターや近隣の陸上競技場を利用しての練習に取り

コーチ 藤巻理奈

今年度より陸上部の短距離コーチに就任しました藤巻理奈です。

私は実業団まで陸上競技を続けてきました。そのあと、教員になり今に至ります。

この度、星槎国際高等学校にお世話になり、大磯町の広大な星槎国際湘南キャンパスでこれから過ごせる事を大変嬉しく思います。

オーシャンビューの人芝のグラウンド、背には富士山も観えます。大自然の中で坂道やクラスカントリーの練習も行え、この恵まれた環境のなかで皆さんとどのようなトレーニングができるか楽しみです。

陸上競技、特に短距離は一瞬で結果がつくスポーツです。やり直しもありません。その一瞬のために毎日何倍もの努力と準備をする必要があります。個人種目のためスタートラインに立つ時は孤独です。そんな究極な種目ですが日々の積み重ね、そして仲間と切磋琢磨し努力を積み重ねれば、本番への自信に繋がります。

陸上競技を通して精神力を養い最後まで諦めず貫き通せるような人になれるよう、そのお手伝いが少しでもできれば嬉しいです。一緒に頑張っていきたいと思います。

キャプテン 栗田伊吹

残された大会を信じ最後までやり抜きたいと思ひます。

組み、「星槎が神奈川、関東、全国へ向けて新しい風を吹かせる存在」となるよう、チームや個人が掲げる目標に向かって努力を積み重ねて来ました。

そして、2020年度は新たにエリートリアからの留学生と3月に中学を卒業した生徒を加え、昨年を上回る活躍を期して竹澤安博監督や門馬健太コーチ、藤巻理奈コーチと共にスタートを切る予定でいました。しかしな

がら、予期せぬ新型コロナウイルスの影響を受けて、現在高校陸上界にあっては多くの大会が中止あるいは延期になってしまいました。

私たちはこうした状況のなか、決して目標を見失うことなく、様々な困難を乗り越える過程において自らを成長させ、限らない努力と強い信念のもと、仲間と共に頑張っていきたいと思ひます。

箱根駅伝の名シーンを記録した貴重な写真や往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にある様々なエピソードなどテーマを区切って展示しています。

箱根駅伝ミュージアム
HAKONE EKIDEN MUSEUM

神奈川県足柄下郡箱根町箱根167
TEL 0460-83-7511

furusawa printing Ltd.

オフィスの「ない」をすぐにお届け! 送料無料でお届け! 約110万点の品ぞろえ! 当日・翌日お届け!

たのめーる

豊富な品ぞろえのオフィス用品通販なら「たのめーる」検索と検索ください!

大塚商会 <https://www.tanomail.com/>

株式会社大塚商会 東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡